



月刊宮司プレス 第二百三十八号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和八年 三月 十二日

◇宮司の柴田です。先月は、宮司プレスの発行をお休みしました。昨年十二月に、二回発行しましたので、遅れの累積は、かろうじて、

免れました。お待たせしました。宮司プレス

第二百三十八号の発行です。今年、「午

年」ですが、この「午」という字の語源は、宮

司プレス二百三十六号でも記述しましたが、

「杵」であります。「突き当たる」、「さから

う」、さらには、「交り合う」、「つらぬく」とい

う意味があります。したがって、今年、対立、衝突が強く働く年であると考えられます。

年初、米国によるベネズエラの侵攻を皮切りに、

さらに、中東では、世界を巻き込む紛争が、勃発

しています。まさしく、国と国が「突き当たり」、「さからい」争っています。

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和八年 三月 十二日

◇天皇陛下の皇位の継承の証は、「三種の

神器」です。「鏡」と「勾玉」と「剣」であ

ります。「鏡」は正直、「勾玉」は慈愛の象徴

とされます。「剣」は、戦いの象徴でもな

れば、武器でもありません。戦わずして、和睦

するために必要な知恵の象徴なのです。歴代の

天皇陛下は、この「正直」、「慈愛」、「知恵」を兼ね

備えられて、国を治めてこられました。日本の

国は、自然と人間、宗教と宗教、伝統と近代化、

いろいろなるものを調和して、発展してまいりまし

た。その中心的な、バランス オブ パワーと

しての御存在こそが、天皇陛下であり、皇室を中

心とした日本の国柄です。

◇明治時代に来日されたイギリスの詩人である、マッシュ・アーノルドさんは、日本を「天国また

は極楽に最も近い国」と評されました。日本の

文化や芸術、道徳、礼節、さらには、「もののあ

れ」などの情緒、まさしく日本の国柄に触れら

れて、そのようにお感じになったのではないでし

ようか。

◇科学は、人間が「知らないこと」が、実に多い

ことを教えてくれます。宇宙の物質の二割強、

エネルギーの七割強は未知の世界です。人間は

全知ではなく、全てを制御できません。未知な

る世界には、畏敬の思いを大切に、行動は慎重

であるべきなのです。そして、われわれは、生

態系の一部であることを、はっきりと、意識すべ

きです。今は亡き遺伝子研究の権威であられた

村上和雄先生は、「命がこの世に生を受ける確率

は、一億円の宝くじが百万回続けて当たるほど

稀有な事」と仰っています。今ある命に、感謝

しても感謝しきれません。感謝する心が大切

です。◇誰もが知っている「ありがとう」という感謝の

言葉、数ある良い言葉の中で最も美しく、力があ

る言葉とされています。それは、「美しい」には「醜い」、「明るい」には、「暗い」、「強い」には、「弱い」というように、それぞれ対になる言葉がありますが、「ありがとう」には対になる言葉がなく、それだけで独立しているというのです。自分から「ありがとう」という言葉を投げかけるのも、もちろん大切ですが、「ありがとう」と言ってもらえるのは、それ以上に大きな力と喜びを与えられます。食べる物で体がつくられ、聞いた言葉で心がつくられ、発する言葉で未来がつくられます。じつは、すべて、自分が選んでいるのです。不平不満を言っても、未来が明るくなることはありません。

◇日々の暮らしの中で、お互いに知恵をしぼり、「ありがとう」の感謝の言葉を交わし、「千年」にあやかり、「まじりあい」、調和のとれた生活を心掛けたいものです。そして、混迷深まりゆく世界情勢であればこそ、日本人のオプリージュ（果たすべき役割、日本人らしさ）である、「大いなる和らぎ」、「和の心」を「つらぬき」、「もののあるれ」、情緒を大切にする国柄を大切にしたいものです。御自愛ください。

◇二月祭典行事報告

- ▼月次祭 *二月一日
- ▼貴布禰神社月次祭 *二月一日
- ▼節分祭 *二月三日
- ▼紀元祭 *二月十一日



▼横浜ベイスタースターズ下関ファン集いの会参拝 *二月十四日

▼月次祭、朝粥会 *二月十五日

▼福浦稲荷神社初午祭 *二月十五日

▼折年祭

◆本宮 *二月十七日

◆田の首八幡宮 *二月二十一日

◆六連島八幡宮 *二月二十四日



▼天長祭 *二月二十三日



◇二月の宮司動静

◆神社関係団体

▼早起会参拝 *二月一日

▼維蘇志会節分準備作業 *二月二日

▼維蘇志会役員会 *二月十九日

▼神道会世話人会 *二月二十二日

◆神社庁関係

▼下関支部幹事会 *二月六日

▼下関市建国青年の集い *二月八日

▼神社庁役員会 *二月十二日

▼神社庁支部長事務局長会議、例祭 *二月十三日

▼祭典後講話研修会 *二月十六日

▼厳島神社有島宮司叙勲祝賀会 *二月二十三日

▼中国地区神社庁連絡会議 *二月二十五日～二十六日

▼自治会、学校関係、人権相談員、その他

◆人権擁護委員

◆下関協議会常任委員会 *二月五日

◆県連委員会 *二月二十七日

▼自治会、学校関係、その他

◆玄洋忠CS *二月七日

◆西山小CS *二月十日

◆あいさつ運動 *二月十日

◆迫町自治会役員会 *二月十八日

▼講演活動

◆しおかぜの里保育園保護者会 *二月二十一日

※「心と言葉」と題して講演